



近未来創造講演会

中越大震災21年 記憶から未来へ！

大地震はまたやってくる!?

そして気候変動は不連続に訪れる!?

“震度7 余震840回余 それでも我が大地を愛す”



2004(平成16)年10月23日、我々の大地を震度7、余震840回余の大震災が襲い多くの人々の生活を危機にさらしました。その大地震から21年の歳月が経過しますが、全国各地で震災並びに自然災害が多発しています。

生活環境が多様化される中で、より安全・安心な社会的共通資本の整備拡充が求められると共に、地域住民が復旧・復興・再興の経験値を伝承し自然災害に自ら対応する「防災意識・行動力」を高揚する機会といたします。

日時

2025(令和7)年

3月17日(月) 13:30~16:30

会場

長岡リリックホール
〈シアター〉

参加
無料

講演テーマ

中越地震21周年 今なすべき2つのこと — 「次への備え」と「社会価値」

講師/一般財団法人国土技術研究センター 理事長 徳山 日出男氏

地球沸騰化時代 ~気候危機に備える適応策の紹介~

講師/国立環境研究所気候変動適応センター 高度技能専門員 根本 緑氏

主催/一般社団法人地域ルネッサンス創造機構 シンクタンク・ザ・リバーバンク

共催/新潟県長岡地域振興局、長岡市、長岡商工会議所、(公社)中越防災安全推進機構

後援/国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所、長岡国道事務所、国営越後丘陵公園事務所、(一社)北陸地域づくり協会、(一社)新潟県建設業協会長岡支部、(一社)新潟県測量設計業協会、(一社)長岡市建設業協会、(一社)長岡市緑地協会、(一社)防災ドローン実践研究会、中越市民防災安全士会、長岡技術科学大学、長岡造形大学、長岡大学、長岡崇徳大学、長岡工業高等専門学校、連合中越、(一社)長岡青年会議所、NPO水環境技術研究会、新潟県越路大地の会、にいがた22の会

気候変動は企業経営を脅かす大リスクです



あなたはレジリエンスな準備・対応ができていますか？

緩和とは？ 原因を少なく **2つの** 気候変動対策 **適応**とは？ 影響に備える

緩和策の例
 節電・省エネ、エコカーの普及、再生可能エネルギーの活用、森林を増やす、温室効果ガスを減らす

適応策の例
 感染症予防のため虫刺されに注意、熱中症予防、災害に備える、高温でも育つ農作物の品種開発や栽培、水利用の工夫

気候変動による人間社会や自然への影響を回避するためには、温室効果ガスの排出を削減し、気候変動を極力抑制すること（緩和）が重要です。

緩和を最大限実施しても避けられない気候変動の影響に対しては、その被害を軽減し、よりよい生活ができるようにしていくこと（適応）が重要です。

命と心を守る
 ために必要なこと

山と渓谷社 2024年4月16日発売
 編著：脇岡靖明 著：根本緑

出典：気候変動適応情報プラットフォーム「A-PLAT」

R 申し込み方法

申込締切 3月11日 〆 ※当日消印有効

事前申し込みが必要です。締切日までに下記のいずれかの方法でお申し込みください。

- FAX** 下記の申込欄に記入してお申し込みください。 FAX: (0258) 33-5684
 - Web申し込み** <https://sites.google.com/view/riverbank-nagaoka> からアクセスしてお申し込みください。(右記の二次元コードからもお申し込みいただけます)
 - ハガキ・E-mail** ハガキ・メールの場合は、氏名・住所・電話番号・「近未来創造講演会」と明記して、下記送付先にお送りください。(複数名の場合は申込者全員をご記入ください。)
- ハガキ宛先 〒940-0064 長岡市殿町1丁目1番地32 シンクタンク・ザ・リバーバンク 理事長 鈴木 重吉
 E-mail宛先 shinanogawa2@gmail.com



近未来創造講演会「中越大震災21年～記憶から未来へ！」参加申込書			
			申込日 月 日
(フリガナ)		ご連絡先	(緊急時のために、日中連絡可能な電話番号をご記入下さい)
氏名			一般電話： 携帯電話：
住所	(〒 -)		
同行者が ある場合	氏名	住所	ご連絡先電話番号

〈注意事項〉①「申込」がない場合はご入場できません。②複数名でお申し込みされる場合、ご出席される方全員の氏名、住所、連絡先をご記入ください。③申込後、キャンセルされる際は事務局までご連絡をお願いします。④お預かりした個人情報は、今回の講演会に関する業務にのみ使用いたします。